

教科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・2年・全員
使用教科書	森林科学	実教7農業308	副教材等	自作プリント	

1 学習の到達目標

森林の育成、保全と利用に必要な知識と技術を習得し、森林生態系と林木の生育特性を理解させるとともに、森林を総合的に利用する能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4 ～ 6 月	林木の生育と環境	2 林木の生育特性 生育 耐陰性 根系 繁殖の方法	<ul style="list-style-type: none"> 森林を取り巻く環境や林木・樹木特性を実験や観察をとおして学びます。 実生苗や挿し木苗の養成を体験することで苗木の生育と環境との関係を学び、優良な苗木の育成法と繁殖法学びます。 	ノート 実習観察 レポート テスト 他
		3 林木の生育と環境因子 気象因子 土地因子 生物因子	<ul style="list-style-type: none"> 適地滴木の理解を深め、環境因子や土壌について調査研究します。 	
7 ～ 11 月	育林と造林	1 林木の育苗と育種 林木の育苗・実生苗の育成	<ul style="list-style-type: none"> 苗木と生育環境との関係を学び、最適な苗木の生育環境がわかるようになります。 	
		さし木苗 接ぎ木苗 林木の育種	<ul style="list-style-type: none"> 荒穂・押し穂の作成技術を身に付けます。 	
12 ～ 3月		2 苗畑の管理 裸苗の管理 培地つき苗	<ul style="list-style-type: none"> 苗畑の管理を学び、床作り、播種、除草、かん水、間引きなどの管理ができるようになります。 	
		3 人工更新と天然更新 森林の更新・萌芽法 苗木や種子による更新	<ul style="list-style-type: none"> 地域環境に合った更新方法を学び、地ごしらえや植え付けに関する技術を身に付けます。 	
		4 主な林木の造林法 スギ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の造林の特徴と林木の必要性及び造林法について学びます。 	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	森林、林業技術に関心が持てる。
思考・判断・表現	育苗や造林の方法や課題を考察することができる。
技能	育苗や造林の基本技術が身についている。苗木をつくることができる。
知識・理解	知識として蓄積し、さらに応用することができる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- 授業ノート
- 実験実習レポート
- 観察記録
- ノートやファイル
- 課題レポート

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

- 実習では常に「安全」に留意し、怪我・災害の防止に努めること。
- 近くの森林にも積極的に出かけ、常に自然に親しんで観察する姿勢を持てること。
- 森林や樹木についての社会的な出来事にも関心を持てること。
- 観察記録や実験実習のレポートを作成する力を身に付け、期日までに提出すること。